



令和 3 年度 学校説明会 資料



横浜市立元街小学校

学校教育目標

- 共に生活をつくり、共に学び合う子どもを育てます。(知・徳)
- 豊かに、健やかに心と体を育む子どもを育てます。(徳・体)
- この地を愛し、この地をつくる子どもを育てます。(公・開)

目指す子ども像

「かしこく やさしく たくましく 未来をつくる元街っ子」

学校経営方針

- ☆「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくり
 - ・基礎基本となる学力が保障されること
 - ・体験を通して自己実現が図られること
 - ・子どもの相互交流を基軸とした教育活動がより充実すること

○子ども主体の授業改善

- ・日々の授業や授業を伴う研究会を通して、主体的な問題解決能力・コミュニケーション力の育成
- ・一部教科分担制やTT(チームティーチング)・少人数指導等多様性や柔軟性に富む指導方法の積極的活用
- ・教科や学年、国際教室等の担当者の複数の目を通して、子ども一人ひとりをみるきめの細かい指導

具体的な取組

◇国語科の授業改善を中心に、研究を推進

- ・「『課題意識をもち、豊かな対話を通して、目指すべき資質・能力を育成する言葉の学習のあり方』～国際教室と連携し、全ての児童に『思考・判断・表現の力が付く』単元づくり～」のテーマで本年度研究を推進
- ・年9回の講師を招いた授業研究会による教員の授業力向上

◇高学年チームマネジャーの創設

- ・子どもの成長の大きな転換点となる小学校高学年において、組織的・効果的な学年経営を強化し、児童の資質・能力を着実に育成

◇国際教室と連携した授業

- ・個別の日本語指導と学級での教科指導の支援

○児童指導の充実

- ・基本的な規律の指導の徹底(元街ルールブック)
- ・全教職員で児童一人ひとりを見つめ、見守り、指導支援していく協力体制の構築
- ・いじめの根絶
- ・児童支援専任との連携を図った組織的な取組
- ・児童相談所、区役所、警察等の関係機関との迅速な連携
- ・道徳教育の充実等を通して、豊かな心の育成および居場所づくり
- ・特別支援教育支援員や母語支援ボランティア等の活用

具体的な取組

◇子どもの社会的スキルよこはまプログラムの実施

- ・YP アセスメントシートの結果について複数の教職員で話し合い、学級や児童に関する多面的で総合的な理解を深め、教職員の自己理解を深め、支援方針を決める
- ※YP アセスメントシートとは、児童向けの学校生活アンケートと教師向けの学級風土チェックシートの二つを合わせて支援を検討するための資料

◇運営委員会によるあいさつ活動の実施

- ・児童会スローガン「みんなの心を大切に 笑顔いっぱい元街っ子」の達成に向け、運営委員会の児童中心にあいさつ活動を行い、一人ひとりがあいさつを大切にできるようにする

○特別支援教育の充実

- ・特別支援を要する児童の具体的な対応の習得
- ・児童相談所、区役所、中部療育センター等関係機関との連携
- ・一人ひとりが安心して豊かに学べる学校環境の整備

具体的な取組

◇子どもたちの心につながる学習

- ・道徳では、資料や発問を工夫して、子どもたちの気持ちにより強く働きかける授業の展開

◇特別支援教育の充実

- ・中部療育センター等関係機関との連携強化、教職員の研修など

◇児童支援専任を核とする児童指導体制の充実

- ・学級・学年を越えて、全教職員で児童の見守り

◇のびのび教室

- ・児童の自己肯定感の向上

◇母国語支援サポーター

- ・外国につながる児童も安心できる学校生活

◇一般学級と個別支援学級の交流学習の充実

- ・それぞれの学級の児童が共に学びあう学習課題を設定し、交流

○体力向上

- ・新体カテストで、学年が上がるにつれて市平均を下回っている項目が多い現状がある。特に、瞬発力、体力・持久力の項目では顕著に表れており、改善し体力向上を図る必要がある

具体的な取組

◇全校での縄跳びの取組

- ・技能の向上を賞賛するとともに、縄跳びの技を音楽に合わせて跳ぶこと、友達と合わせて跳ぶこと(リズム縄跳び)の楽しさを実感し、日常的に親しめるようにする

○主体的な子どもの育成と「行事」「環境」等の見直し

- ・コロナ禍における行事等の見直し(全校遠足、運動会)

具体的な取組

◇年間を通じた異学年でのたて割り活動(全校遠足、スマイルタイム等)

- ・異学年での交流を通して、高学年はリーダーとしての意識や下の学年の児童を思いやる気持ちを高め、低・中学年は、上の学年の姿に憧れをもつことで今後の活動への意欲を高める
- ・例年、5月に行う全校遠足が実施できなかったため、ペアトークやレクリエーションなど、班の仲を深める活動を取り入れ、スマイルタイムを積極的に実施
- ・例年、1日開催の運動会を、感染予防対策のため、3日間でブロックごとにスポーツ大会を実施

○チーム元街の再構築

- ・「チーム元街」としての組織力向上(教職員の協働意識と同僚性を高める)
- ・「学年主任会」「学年研・ブロック研」の充実と運動システムの構築
- ・教職員の学校運営への参画意識や協働意識を高める学校運営
- ・経験の浅い教職員への指導・支援

具体的な取組

◇メンターチームによる研修

- ・新採用教員から5年目までの経験の浅い教員による授業研究会や自主的な勉強会

○その他

◇学校運営協議会や学校評価の活用

- ・学校運営協議会や学校評価を活用した学校運営や教育活動の改善

◇保護者、地域ボランティアの協力

- ・元街ブック会読み聞かせ
- ・図書室整備
- ・ぼうさいの芽を育てる会
- ・飼育動物のお世話

◇オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ・スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等
- ・「フラワーレーンプロジェクト」の実施
競技会場の手荷物検査を行うためのエリア内に、子どもたちが植え、育てた花に応援や歓迎のメッセージを添えた鉢植えを並べたレーンで仕切る取組
- ・障害者理解を深め、多様性を認める態度を育てるパラリンピアンによる講演会の実施